

施工要領書

PCギ木 テーブルセットシリーズ

このたびは弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。商品の組み立てや取り付けには、**この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。**

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。また、注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。施工にあたって必ずお守りください。

■目次

確認・注意事項・対象製品一覧・施工時の準備リスト …	1
規格寸法及び付属品 ……	2~4
施工手順(テーブルセット1A・1B号、2号) ……	5
施工手順(テーブルセット3号) ……	6
施工手順(テーブルセット4号) ……	6
施工手順(テーブルセット5号) ……	7
施工手順(テーブルセット6号) ……	7
施工手順(テーブルセット9号) ……	8
施工手順(テーブルセット10号) ……	8

！ 施工前の確認事項

- 開梱時に種類と数量を必ずご確認ください。(規格寸法及び付属品 参照。ギ木色塗料は製品に含まれます。)
- 万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合は、販売店または(株)ナベシマまでご連絡ください。

！ 施工上の注意事項

- PCギ木はコンクリート製品である為、角欠け等に注意してください。
- 付属品のボルト類の締め付けは全て確実に行って下さい。
- 付属の部品以外は使用しないでください。
- 施工後、ネジおよびボルト類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所などがないか点検してください。
- 補修は材料添付のギ木色塗料を塗ってください。
- 開梱時には荷崩れしないように注意して下さい。

！ 安全上の注意事項

- PCギ木は重量物である為、施工時に指つめ等に注意してください。

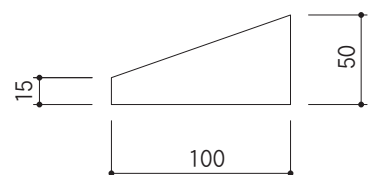
対象製品

- ・テーブルセット1A号(TS-1AY・TS-1AK)
- ・テーブルセット1B号(TS-1BY・TS-1BK)
- ・テーブルセット2号(TS-2Y・TS-2K)
- ・テーブルセット3号(TS-3Y・TS-3K)
- ・テーブルセット4号(TS-4Y)
- ・テーブルセット5号(TS-5Y)
- ・テーブルセット6号(TS-6Y)
- ・テーブルセット9号(TS-9Y)
- ・テーブルセット10号(TS-10Y)

施工時に必要なもの

- クレーン(4,9,10号以外)
- コードリール(延長コード)
- ナイロンスリング(4,9,10号以外)
- クサビ(木製) 曲尺
- プラスチックハンマー 刷毛
- W3/8ボックススパナ(首長タイプ)口径17(4,9,10号)
- 砂・セメント・水等、モルタル作業が出来る用に準備
- ※施工場所等の状況により、上記以外に必要なものがあれば準備して下さい。
- 発電機
- レベル・スタッフ
- 墨つぼ
- カケヤ
- W1/2ボックススパナ 口径21(4,10号)
- 丸のこ
- 水平器
- パール
- 棧木

クサビ(参考図)

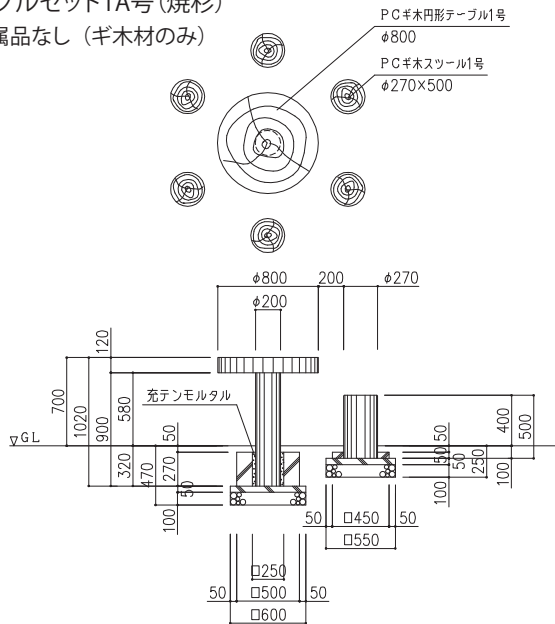


水糸

規格寸法及び付属品

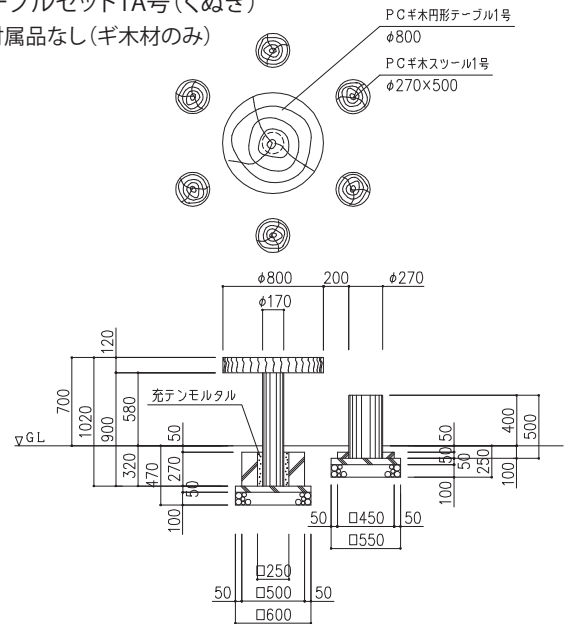
■テーブルセット1A号(焼杉)

※付属品なし(ギ木材のみ)



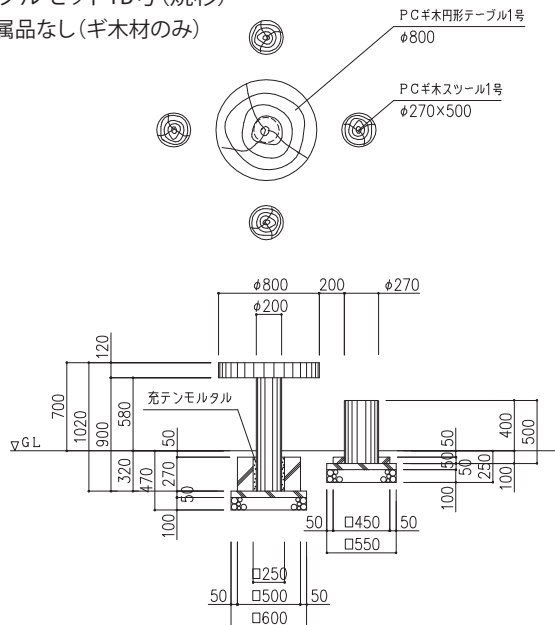
■テーブルセット1A号(くぬぎ)

※付属品なし(ギ木材のみ)



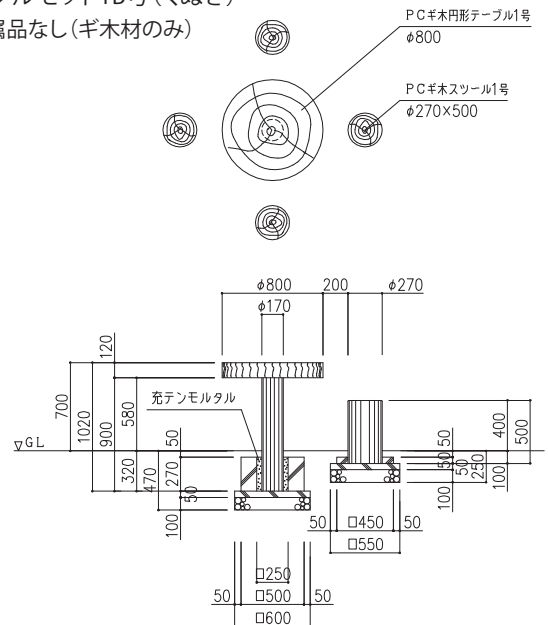
■テーブルセット1B号(焼杉)

※付属品なし(ギ木材のみ)



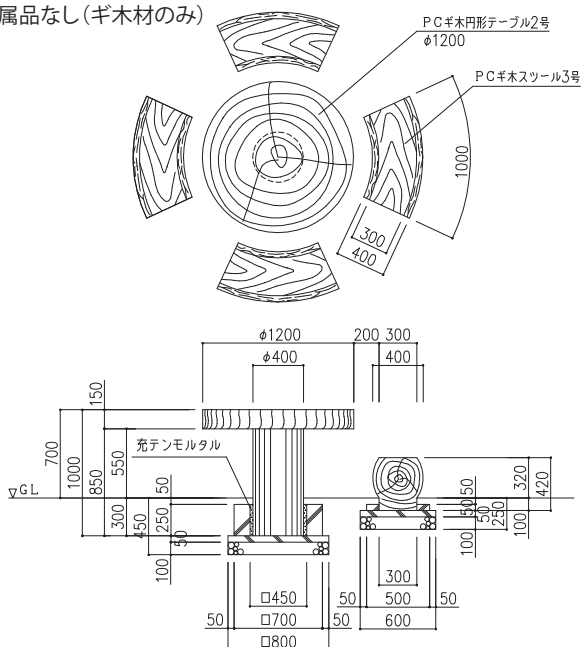
■テーブルセット1B号(くぬぎ)

※付属品なし(ギ木材のみ)



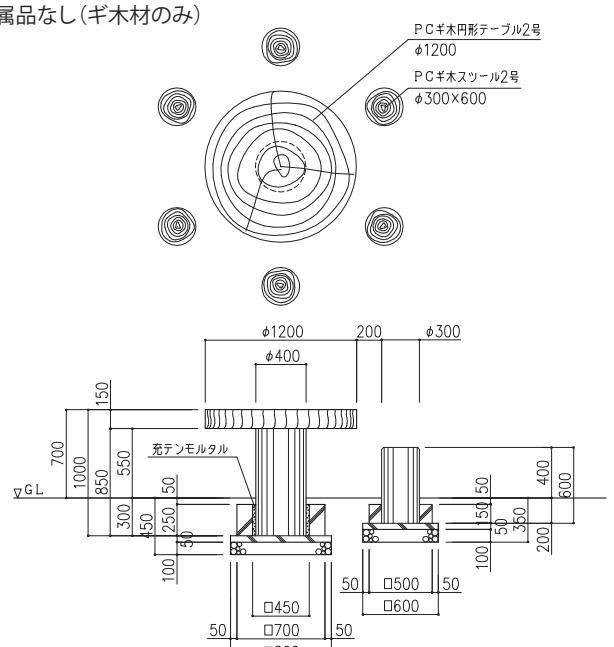
■テーブルセット2号

※付属品なし(ギ木材のみ)



■テーブルセット3号

※付属品なし(ギ木材のみ)



施工手順

テーブルセット1A号 (TS-1AY・TS-1AK)

- 1A号・焼杉/TS-1AY
製品寸法/円形テーブル1号・W:L:φ800×H:1,020 (GLH:700) ツツール1号・W:L:φ270×H:500 (GLH:400)
重量/627kg (テーブル/213kg、スツール/69kg×6)
- 1A号・くぬぎ/TS-1AK
製品寸法/円形テーブル1号・W:L:φ800×H:1,020 (GLH:700) ツツール1号・W:L:φ270×H:500 (GLH:400)
重量/608kg (テーブル/194kg、スツール/69kg×6)

テーブルセット1B号 (TS-1BY・TS-1BK)

- 1B号・焼杉/TS-1BY
製品寸法/円形テーブル1号・W:L:φ800×H:1,020 (GLH:700) ツツール1号・W:L:φ270×H:500 (GLH:400)
重量/489kg (テーブル/213kg、スツール/69kg×4)
- 1B号・くぬぎ/TS-1BK
製品寸法/円形テーブル1号・W:L:φ800×H:1,020 (GLH:700) ツツール1号・W:L:φ270×H:500 (GLH:400)
重量/470kg (テーブル/194kg、スツール/69kg×4)

※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない個所は調整する。)

■円形テーブル1号の据付

- (3) 円形テーブルを据付ける。
※円形テーブルを吊り上げるときは、「図-1」のように支柱の根元部分にナイロンスリングをしっかりと巻き付けること。

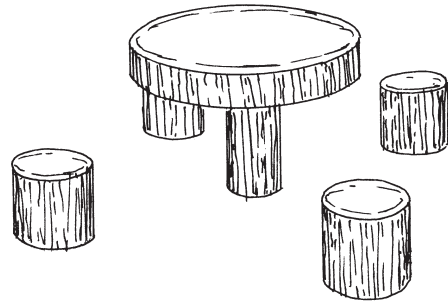
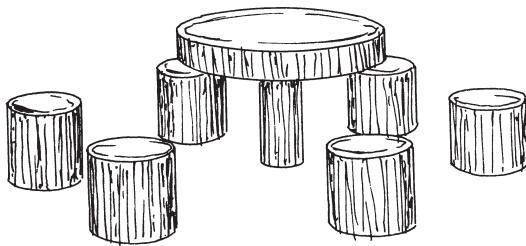
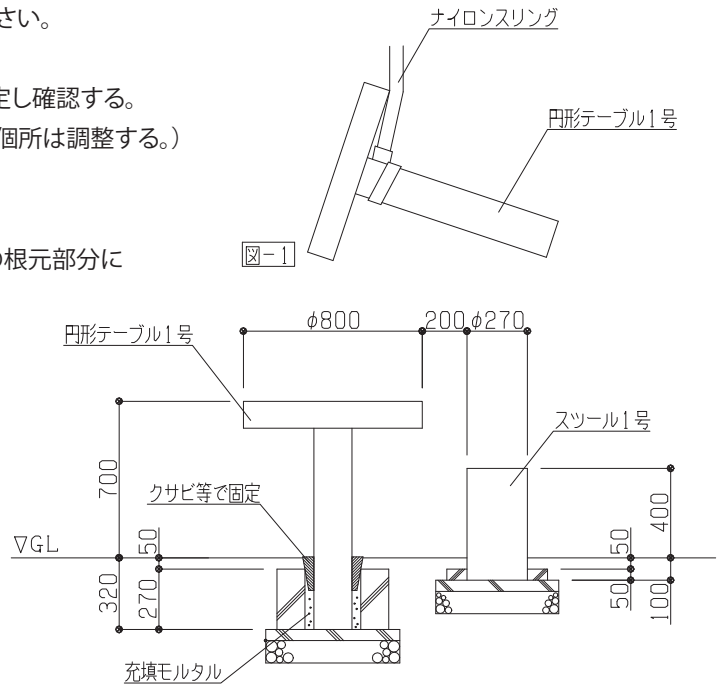
- (4) 円形テーブルの倒れを調整後、クサビ等で固定する。
- (5) モルタルを充填する。

■スツール1号の据付

- (6) 均しコンクリートの上にスツールを据付ける。
(レベルの出ていない個所は調整する。)
- (7) スツールの芯々及び通りを調整後、コンクリートを打設する。

※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。



テーブルセット2号 (TS-2Y・TS-2K)

- 製品寸法/円形テーブル2号・W:L:φ1,200×H:1,000 (GLH:700) ツツール3号・W:L:400/300×L:1,000×H:420 (GLH:320)
重量/1,763kg (テーブル/663kg、スツール/275kg×4)

※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない個所は調整する。)

■円形テーブル2号の据付

- (3) 円形テーブルを据付ける。
※円形テーブルを吊り上げるときは、「図-1」のように支柱の根元部分にナイロンスリングをしっかりと巻き付けること。

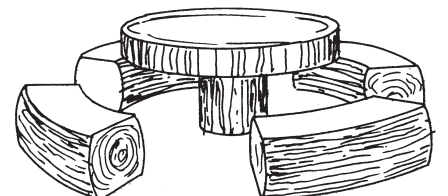
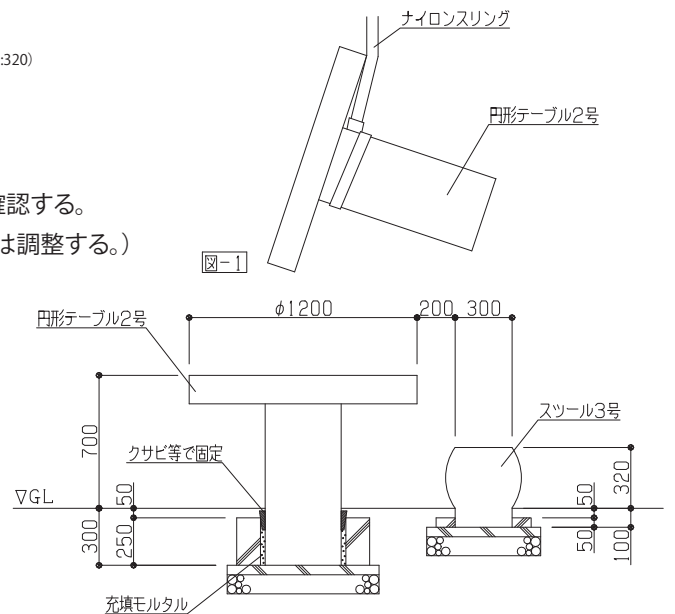
- (4) 円形テーブルの倒れを調整後、クサビ等で固定する。
- (5) モルタルを充填する。

■スツール3号の据付

- (6) 均しコンクリートの上にスツールを据付ける。
(レベルの出ていない個所は調整する。)
- (7) スツールの芯々及び通りを調整後、コンクリートを打設する。

※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。



施工手順

テーブルセット3号 (TS-3Y・TS-3K)

製品寸法 / 円形テーブル2号・W:L:φ1,200×H:1,000 (GLH:700) スツール2号・W:L:φ300×H:600 (GLH:400)
重量 / 1,275kg (テーブル / 663kg、スツール / 102kg×6)

※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない個所は調整する。)

■円形テーブル2号の据付

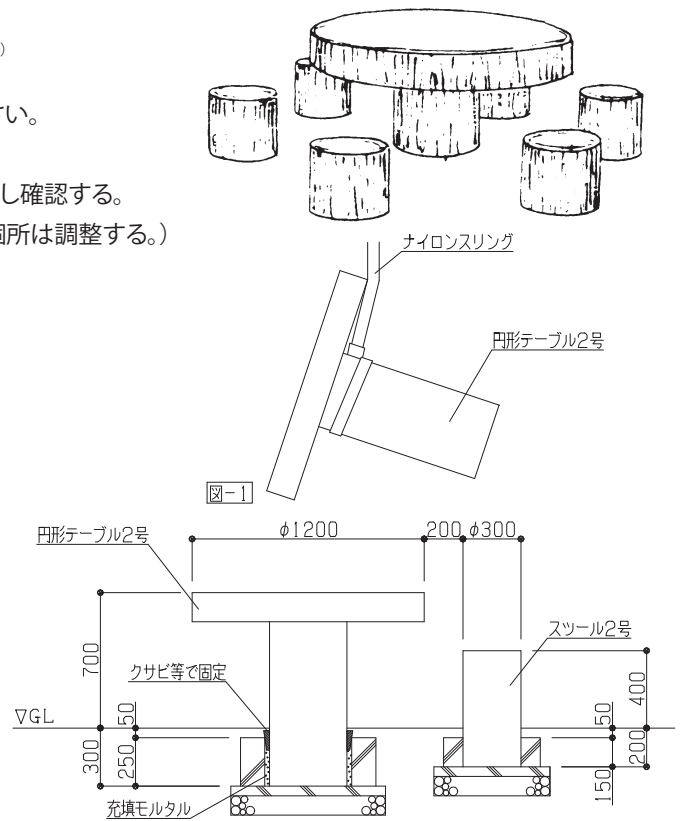
- (3) 円形テーブルを据付ける。
※円形テーブルを吊り上げるときは、「図-1」のように支柱の根元部分にナイロンスリングをしっかりと巻き付けること。
- (4) 円形テーブルの倒れを調整後、クサビ等で固定する。
- (5) モルタルを充填する。

■スツール3号の据付

- (6) 均しコンクリートの上にスツールを据付ける。(レベルの出ていない個所は調整する。)
- (7) スツールの芯々及び通りを調整後、コンクリートを打設する。

※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。



テーブルセット4号 (TS-4Y)

製品寸法 / 野外卓・W:900×L:1,500×H:980 (GLH:680) 平板ベンチ2号・W:420×L:1,500×H:585 (GLH:385)
重量 / 804kg (野外卓 / 416kg、ベンチ / 194kg×2)

※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

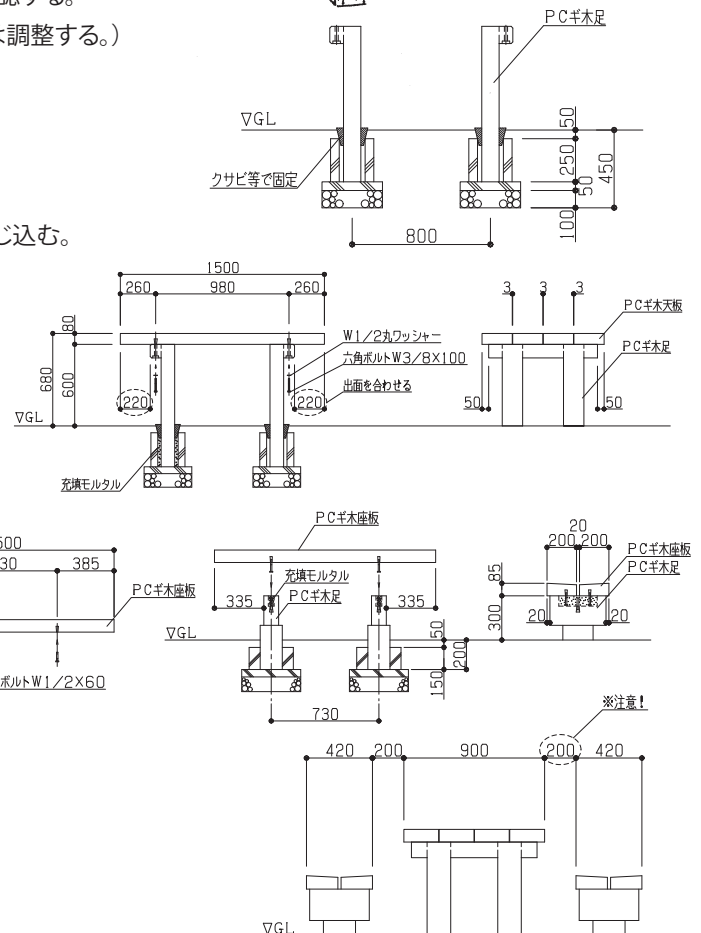
- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない個所は調整する。)

■テーブルの据付

- (1) 足(2ヶ)を据付ける。
- (2) 足の芯々・通り・倒れ等を調整後、足をクサビ等で固定する。
- (3) 天板(4枚)のコテ面側インサートを足の孔に合わせて据付ける。
- (4) 足側から天板インサートに向かって六角ボルト、丸ワッシャーをねじ込む。
- (5) 天板の目地が均等になる様に調整すること。
- (6) 天板の出面(正面・側面)を調整すること。
- (7) 基礎部にモルタルを充填する。

■ベンチの据付

- (1) 足(2ヶ)を据付ける。(レベルが出ていない個所は調整すること。)
- (2) 足の芯々・通りを調整後、コンクリートを打設する。
- (3) 座板(2枚)のコテ面側インサートに六角ボルトをねじ込む。
- (4) 足の天端の孔にモルタルを充填する。
- (5) 座板を足に据付ける。
- (6) 右図のように座板の位置を調整する。



※インサート部は養生の為、テープが張ってある場合があります。

※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。

施工手順

テーブルセット5号 (TS-5Y)

製品寸法 / 角形テーブル1号・W:800×L:800×H:1,000 (GLH:700) ツツール5号・W:300×L:300×H:600 (GLH:400)
重量 / 760kg (テーブル / 240kg, ツツール / 130kg × 4)

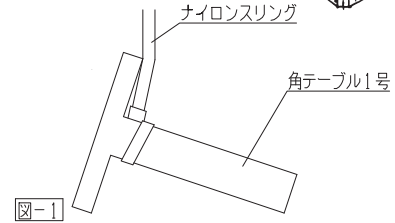
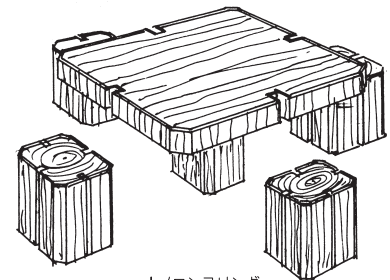
※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない個所は調整する。)

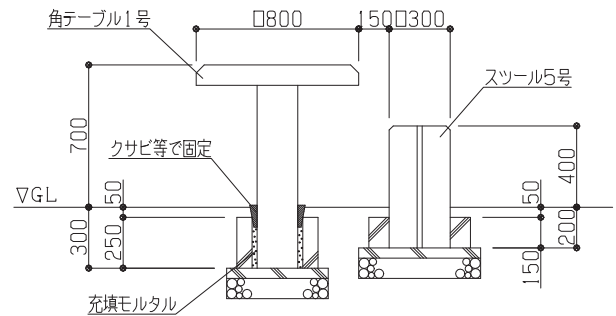
■角テーブル1号の据付

- (3) 角テーブルを据付ける。
※角テーブルを吊り上げるときは、「図-1」のように支柱の根元部分にナイロンスリングをしっかりと巻き付けること。
- (4) 角テーブルの倒れを調整後、クサビ等で固定する。
- (5) モルタルを充填する。



■スツール5号の据付

- (6) 均しコンクリートの上にスツールを据付ける。(レベルの出ていない個所は調整する。)
- (7) スツールの芯々及び通りを調整後、コンクリートを打設する。



※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。

テーブルセット6号 (TS-6Y)

製品寸法 / 角形テーブル2号 / W:1,200×L:1,200×H:1,000 (GLH:700) ツツール5号・W:300×L:300×H:600 (GLH:400)
重量 / 1,637kg (テーブル / 597kg, ツツール / 130kg × 8)

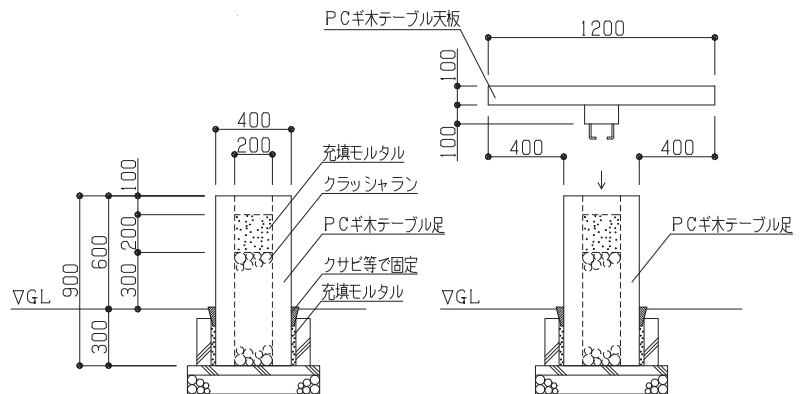
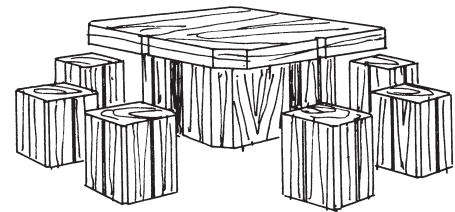
※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない個所は調整する。)

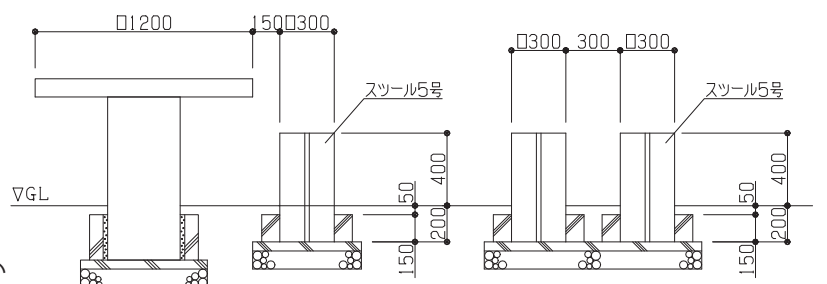
■角テーブル2号の据付

- (1) 足(1ヶ)を据付ける。
- (2) 足の倒れ等を調整後、足をクサビ等で固定する。
- (3) テーブル足の内部に、テーブル足の天端から300下りの高さまでクラッシュランを充填する。
- (4) さらにテーブル足の内部に、テーブル足の天端から100下りの高さまでモルタルを充填する。
- (5) テーブル天板をテーブル足に据付ける。
- (6) テーブル天板の出面を調整すること。
- (7) テーブル天板、固定後に基礎部にモルタルを充填する。



■スツール5号の据付

- (1) 均しコンクリートの上にスツールを据付ける。(レベルが出ていない個所は調整する。)
- (2) スツールの芯々及び通りを調整後、コンクリートを打設する。



※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。

施工手順

テーブルセット9号 (TS-9Y)

製品寸法 / テーブル1号・W:605×L:1,500×H:960 (GLH:660) ベンチ・W:300×L:1,500×H:360 (GLH:360)
重量 / 556kg (テーブル / 266kg, ベンチ / 145kg × 2)

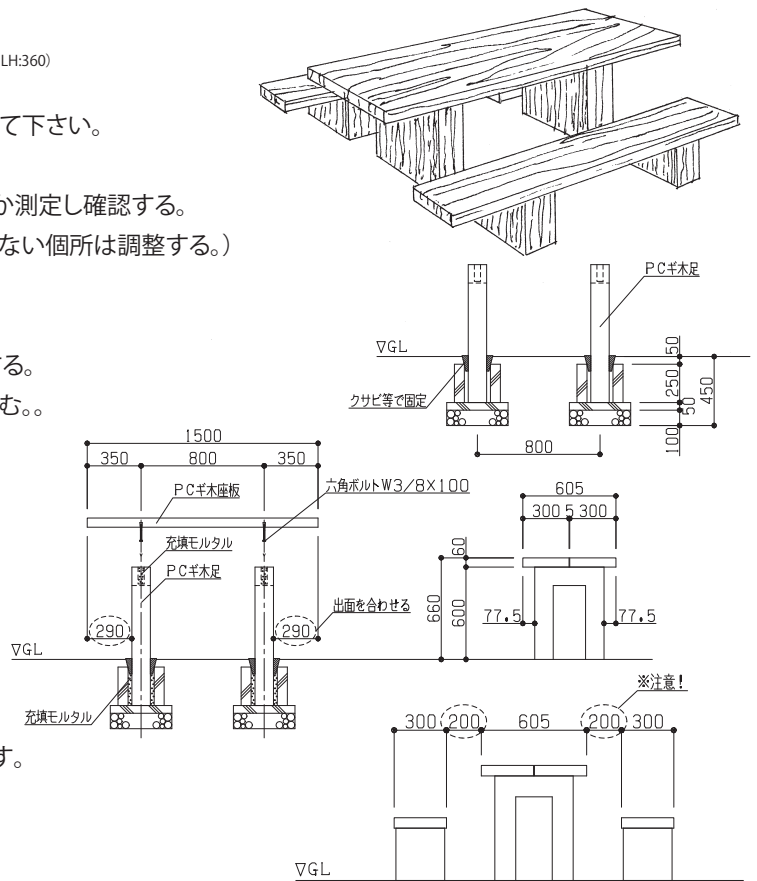
※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない箇所は調整する。)

■テーブルの据付

- (1) 足(2ヶ)を据付ける。
- (2) 足の芯々・通り・倒れ等を調整後、足をクサビ等で固定する。
- (3) 天板(2枚)のコテ面側インサートに六角ボルトをねじ込む。
- (4) 足の天端の孔にモルタルを充填する。
- (5) 天板を足に据付ける。
- (6) 天板の目地が均等になる様に調整すること。
- (7) 天板の出面(正面・側面)を調整すること。
- (8) テーブル天板、固定後に基礎部にモルタルを充填する。



■ベンチの据付

- (1) ベンチは据え置きタイプの為、右図のようにベンチの位置を調整する。

※インサート部は養生の為、テープが張ってある場合があります。

※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。

テーブルセット10号 (TS-10Y)

製品寸法 / テーブル・W:1,500×L:2,000×H:900 (GLH:700)
平板ベンチ・W:400×L:1,200×H:585 (GLH:385) 平板ベンチ1号・W:400×L:1,500×H:585 (GLH:385)
重量 / 1,894kg (テーブル / 918kg, 平板ベンチ / 232kg × 2, 平板ベンチ1号 / 256kg × 2)

※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材は適切に処分して下さい。

■基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、施工図及び設計図面の寸法位置にあるか測定し確認する。
- (2) 据付部の基礎底面レベルを確認する。(レベルの出ていない箇所は調整する。)

■テーブルの据付

- (1) 足(2ヶ)を据付ける。
- (2) 足の芯々・通り・倒れ等を調整後、足をクサビ等で固定する。
- (3) 天板(6枚)のコテ面側インサートに六角ボルトをねじ込む。
- (4) 足の天端の孔にモルタルを充填する。
- (5) 天板を足に据付ける。
- (6) 天板の目地が均等になる様に調整すること。
- (7) 天板の出面(正面・側面)を調整すること。
- (8) テーブル天板、固定後に基礎部にモルタルを充填する。

■ベンチの据付

- (1) 足(2ヶ)を据付ける。(レベルが出ていない箇所は調整すること。)
- (2) 足の芯々・通りを調整後、コンクリートを打設する。
- (3) 座板のコテ面側インサートに六角ボルトをねじ込む。
- (4) 足の天端の孔にモルタルを充填する。
- (5) 座板を足に据付ける。
- (6) 右図のように座板の位置を調整する。

※インサート部は養生の為、テープが張ってある場合があります。

※カケヤ等で調整する場合、ギ木に栈木等で「あて木」を行い直接叩かないようにする。(欠け防止)

※補修はギ木色塗料にてタッチアップを行うこと。

